

令和5年2月17日

本庄市長 吉田 信解 様

(要旨記載者) 旭地区自治会長 三友自治会長 境野良一

静岡県**三島市の防災対策** (自治会が主体となる**自主防災組織**) と
三島市避難行動要支援者の支援活動についての視察研修報告

標記研修を令和5年2月13日(月)の午前10時30分～12時実施

研修場所 三島市総合防災センター (市庁舎とは別棟の独立建築物)

研修出席者

三島市役所 企画戦略部 危機管理課 危機管理係 井上佳代 様

〃 福祉総務課 主幹・福祉総務課長 肥後恵子 様

旭地区自治会長会 岡本会長他8名・本庄市市議会議員3名 別紙のとおり

三島市の防災対策

起 政府の地震予知連絡会議で以前から指摘されていた駿河トラフ・南海トラフ沿い地震等への取り組みから、防災対策を構築してきたが、3.11の東日本大震災(以下、3.11と略す)以降、防災のた

めの取り組みがより一層、本格的になったとのこと。

承 3.11の震災以降、復興の為に職員を派遣し、派遣された職員の現体験等を重視して、市民啓発の強化取り組み・自主防災組織活動への取り組み・三島市自主防災活動マニュアルの策定へと繋がった。

転 自主防災のための、①防災資機材の整備のための補助金制度の拡充

②自主防災組織づくりのための事務説明会、リーダー研修会、人材育成講座を繰り返し実施（各自治会で必ず女性1名の参加義務付け）。

災害の際に派遣された職員の意見・考えをフィードバックした避難所運営マニュアルの作成と避難所が開設された場合の開設訓練他

（衣装ケースに入れ、とても良く考えられた避難所運営グッズ等）。

また、避難所が開設された場合には、必ず女性職員を避難所ごとに配置する等ジェンダーフリーにも、とても配慮されていること

結 民間のコンサルタントを採用しておざなり（少し表現がきついかもしれませんが）な防災計画を策定することも可能ですが、『ただ

転 三島市では、143自治会がありますが、各自治会ごとにケースバイケースで、なおかつオーダーメイドで災害が発生した際の個別避難計画を策定している（但し、全ての143自治会が完成版を策定している訳ではない）

結 143の全ての自治会が、統一した避難計画を策定するのは、非常に難しい。（自治会の防災に対する地域差があること。また、それぞれの自治会の区域と民生委員・児童委員のエリアが必ずしもリンクしていない点等、問題点は様々あるが、地域に根ざした避難計画を策定していくことが、将来災害が起こった際に役立つものとなる）

以上が、市の担当者2名から説明を受けた概要です。

○担当2課の女性職員による説明でしたが、それぞれの部署でひじょうに良く勉強されている事が、今回の研修を通じて受けた感想です。

●マニュアル策定で終わるのではなく、策定したものを反復して実施することにより、実災害が起きた際は、スムーズに行動に移せると思われました。

◆3.11後に災害派遣職員として出向した職員の感性・行動が避難所運営マニュアル等に反映され、ペット避難の事まで配慮されていることに感服しました。

■女性目線でのノウハウが盛り込まれている点も、素晴らしいと思いました。

【結び】今回、旭地区自治会長会の視察研修について良い研修先を見つけてくださった市民活動推進課（担当・元木様）には、感謝いたします。本庄市においても、防災マニュアルは策定されていると思われませんが、先進地視察等により、良いアイデアがあればそれをどんどん取り入れて、大災害が発生した時には市民の生命・財産を守る取り組みを今後も進めていただければと思います。

単に、策定が必要だから作りましたというマニュアル』では、実際に大災害が発生した場合には、全く使い物にならないということも考えられます。

研修の質疑応答を終え、トイレに向かった際、災害発生時に活用するためのオフロードバイクが12台、整然とならべてあるのを見た際、三島市の災害に対する本気度の高さに圧倒されました。

また、市の総合防災センターにミニFM局が入っていました。

三島市の避難行動要支援者の支援活動について

起 平成22年には、災害時要支援者支援計画が策定されている。

平成26年には、自治会・民生委員・児童委員が共有するマニュアルを市が主体となり、作成している。

平成27年には、三島市避難行動要支援者計画を策定している。

以降、支援活動マニュアルを改訂しつつ、活動を推進

承 避難行動要支援対象者については、該当未回答者が27%ほどいるため、未回答者については、回答が得られるまでは、毎年通知を出して、何らかの回答が得られるよう、把握に努めている。

以下、質疑応答（意見・感想も含む）

鳥羽会長 自主防の資機材の整備に関する補助申請については、当市（本庄市）と比較すると、うらやましい限りです。

井上係長 現在の首長（市長）は、元県職員です。そういった点もあり、現職の首長は、防災という点に関しては、すごく関心があり、またとても熱心です。

鳥羽会長 やはり、自治会・民生児童委員との連携は難しいところがありますか？

肥後係長 そうですね。先ほど説明いたしました、自治会と民生・児童委員のエリアが必ずしもリンクしていないこと、またそれぞれの自治会の災害に対する考え方の温度差、また民生児童委員の方の考え方（マクロの見方ができる方とそうでない方の違いなど）も人それぞれですので、なかなか難しいですね。

鳥羽会長 防災に関する先進地視察ということで、以前こちらに来たことがございます。その節は、たいへんお世話になりました。三島市には、毎年何組くらいの自治体が先進地視察研修にいらっしゃいますか？

井上係長 ここ数年は、新型コロナウイルスの関係もあり、年5件程度ですが、コロナ以前は、年十数件ありました。

(2/14に井上係長に電話して、確認済みです)

ほとんどが、市議会議員の団体、あるいは自治体防災関係者です。

今日のような、自治会長様の団体受け入れは、私が記憶している限り、初めてです。

鳥羽会長 ありがとう、ございました。

境野会長 三島市の被害想定に元禄型関東地震の想定とありますが、これは古文書こもんじょに記述のある元禄年間にあった大きな地震を現在に置き換えて発生した場合の災害想定ということで理解してよろしいでしょうか。

井上係長 はい、そのとおりです。

境野会長 避難行動要支援者について、教えてください。私の自治会でも、隣接するもう1つの自治会とで一昨年の12月に民生委員さんと検討会を開催しましたが、『大災害が発生した場合は、まず自分の命を守るのが第一で、とても救援者に民生委員や自治会長の氏名を記載できない。責

任が持てない』ということで、そこから先へは、話が進みませんでした。

三島市で作成されている、個別避難計画には、感服しました。

肥後係長 先ほど説明させていただきましたが、三島市でも、問題が全くないわけでは、ありません。ただし、時間をかけてでも、地域の特性に配慮した形での個別避難計画の策定は重要だと思われまますので、今後も継続します。

境野会長 ありがとう、ございました。

内田市議 玄関を入る際に気付いたのですが、この庁舎（三島市総合防災センター）内にミニFM局が入っているようですが、もし大災害が発生した際にはすぐに、災害関係情報をアナウンスできるような防災に関する協定のようなのを締結しているのでしょうか？

井上係長 はい、防災に関する協定を締結しています。3階にミニFM局が入っていますので、連絡・相談は直ぐにできます。

内田市議 ありがとう、ございました。

研修後記

行政が策定する大きなプロジェクトでは、どうしても男性が主体となり、男性目線で策定完了となってしまうことが多々あるとおもわれます。

三島市では、しっかり女性目線を取り入れていることに、感心しました。(女性に配慮した各種防災マニュアルを策定済み)

また、ペット(犬、猫その他も含む)を飼育している方への対処方法・避難所レイアウトにも、感心しました。

行政・自治会・民生・児童委員の連携の大切さを痛感しました。

(時間がいくらかかっても、この連携はとても重要です)

三島市では、高校1校を含む小・中・高の23施設の体育館等全てが耐震基準を満たしており、その施設に全て衣装ケース等を利用し避難所運営グッズ・避難所開設マニュアルが入ったパッケージが用意され、ただ用意しておくのではなく、避難所開設訓練(毎年実施する市の防災訓練や防災講座の他)を繰り返し行うことで、『いざと

いうときに、あわてないで誰でもが、行動できる』体制が着々と整っていることに、感服しました。

ここからは、^{ごく}極私的意見です。

防災には、お金（税が使われる）がかかります。

箱ものである各種建築物や都市計画道路とは性質・性格がことなります。首長（市長）自身のPRにはパンチ力が弱く、目立たない隠れた存在かもしれませんが、いざという時の大災害（三島市で想定されている大災害とは災害の種類が異なりますが）に備えることは、行政として『待った無し』で一步づつ着実に進めて欲しい施策です。

他にも思った事は沢山ありますが、ここでペンを置きます。

以前、見た外国作品の映画にこんなテロップが流れたことを思い出しました。

【VICTORY LOVES PREPARATION】

【周到的準備が、勝利を招く】と翻訳されていました。

人間は自然の偉大さ（自然災害を含む）に^{あらが}抗うことはできませんが、
周到的準備をしておくことで、災害によるダメージを最小限にとど
めることができるのでは……と今回の研修を終え痛感しました。

本庄市自治会連合会旭地区視察研修参加者名簿

所属	氏名
都島自治会長	織茂 正明
山王堂自治会長 (※視察研修幹事)	大塚 康宏 090-8030-1116
沼和田自治会長	川上 克悟
小島自治会長 (※旭地区代表理事)	岡本 誠一
小島南自治会長 (連合会副会長)	鳥羽 孝夫
万年寺自治会長	茂木 利雄
下野堂自治会長	塩原 秀司
杉山自治会長	金井 弘
新井自治会長	古澤 武
三友自治会長	境野 良一
埼玉県議会議員	飯塚 俊彦
本庄市議会議長	富田 雅寿
本庄市議会議員	栗田 弘志
本庄市議会議員	内田 英亮

飯塚県議は来週からの県議会準備のため、研修会は欠席